

	名前	没年	流配置	流配年代	出典
1	崇徳天皇	1164年	讃岐	保元元(1156)年	流罪の日本史(32~38頁) 日本流人島史(103頁) 流されびと考(144~176頁)
2	法然	1212年	讃岐	承元元(1207)年	流罪の日本史(92頁) 日本流人島史(104頁) 遠流の地土佐(119頁) 土佐流刑(154、155頁)
3	宗良親王 (尊澄法親王)	1385年?	讃岐	元弘元(1331)年	流罪の日本史(122頁) 日本流人島史(104頁)
4	高天		讃岐	応永27(1420)年	日本流人島史(105頁)
5	鳥居甲斐守耀蔵	1873年	讃岐	弦化元(1844)年	日本流人島史(110~111頁)

	名前	没年	流配置	流配年代		出典
1	木梨輕皇子	不明	伊予	允恭25（435）年？		古事記（下）（88頁）
2	輕大娘皇女	不明	伊予	允恭25（435）年		流罪の日本史（13頁） 流されびと考（34～58頁）
3	阿部宗任	1108年	伊予	康平7（1064）年		日本流人島史（103頁）
4	阿部家任	1062年？	伊予	康平7（1064）年		日本流人島史（103頁）
5	中原章繼		伊予	文永元（1264）年		日本流人島史（104頁）
6	一揆頭取		鹿島	宝暦4（1754）年		データベース『えひめの記憶』

	名前	没年	流配置	流配年代		出典
1	藤原経宗	1189年	阿波	永暦元（1160）年		日本流人島史（104頁）
2	平信房		阿波	治承元（1177）年		日本流人島史（104頁）
3	土御門上皇	1231年	土佐→阿波	承久3（1221）年		流罪の日本史（84～87頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（155～157頁）
4	吉田隆長	1350年	阿波	元応2（1320）年		日本流人島史（104頁）

	名前	没年	流配置	流配年代	出典
1	屋垣王		土佐	天武天皇5（676）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（14～27,146頁）
2	柏原廣山		土佐	持統天皇3（689）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（28～40,146頁）
3	石上乙麻呂	天平宝勝2（750）年	土佐	天平11（739）年	流罪の日本史（26～29頁） 遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（40～73,146頁）
4	春日朝臣家継女		土佐	天平14（742）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（74～86,146頁）
5	京師巫覡（17人）		土佐	天平勝宝4（752）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（146頁）
6	伊加麻呂が男中臣真助		土佐	天平宝字7（763）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（108,109,146頁）
7	池田親王		土佐	天平宝字8（764）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（97～107,146頁）
8	水上志計志麻呂		土佐	神護景雲3（769）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（110～119,147頁）
9	弓削浄人一族		土佐	宝亀元（770）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（120～133,147頁）
10	上毛野兄国女		土佐	延暦14（795）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
11	出雲臣家継		土佐	延暦15（796）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
12	吉弥候部黒田・妻田刈女・都保呂・同妻留志女		土佐	延暦18（799）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
13	秦継成・大伴継守・羽昨弥公		土佐	延暦21（802）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
14	門部連松原		土佐	延暦23（804）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
15	吉弥候部欠奈閉		土佐	弘仁11（820）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
16	文屋安恒		土佐	承和10（843）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
17	讃岐永直	862年	土佐	嘉祥元（848）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
18	紀夏井		土佐	貞観8（866）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147、148頁）
19	橘繁延		土佐	安和2（969）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（148頁）
20	源則理		土佐	長暦元（1037）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（148頁）
21	源頼親	1057年	土佐	永承7（1050）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）
22	藤原義考		土佐	康平3（1060）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）

23	興福寺僧靜範縁坐者		土佐	康平6（1063）年	遠流の地土佐（119頁）
24	橘惟行		土佐	康平7（1064）年	日本流人島史（103頁）
25	源頼資		土佐	康平7（1064）年	扶桑略記（301頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）
26	藤原仲季		土佐	延久4（1072）年	遠流の地土佐（119頁）
27	大式庁官8人		土佐	寛治元（1087）年	遠流の地土佐（119頁）
28	高階為家	1106年	土佐	嘉保元（1094）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）
29	源頼治		土佐	承徳2（1098）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）
30	源除子		土佐	康和元（1099）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）
31	荒木田清綱		土佐	康和5（1103）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）
32	源明国		土佐	大治4（1129）年	遠流の地土佐（119頁）
33	源光信	1145年	土佐	大治5（1130）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）
34	源盛行		土佐	康治元（1142）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）
35	藤原師長	1192年	土佐	保元元（1156）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149、150頁）
36	藤原貞憲	1159年？	土佐	平治元（1159）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）
37	源希義	1182年	土佐	平治元（1159）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）
38	安倍泰親	1183年	土佐	治承3（1179）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（151、152頁）
39	以仁王	1180年	土佐	治承4（1180）年	日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）
40	顕真	1192年	土佐	養和2（1182）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）
41	藤原宗長	1225年	土佐	文治4（1188）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）
42	高田重家		土佐	建久元（1190）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）
43	佐々木定高		土佐	建久2（1191）年	流罪の日本史（60頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153、154頁）
44	宇都宮朝綱	1202年	土佐	建久9（1194）年	日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154頁）

この二人は土佐配流はなかった可能性がかなり高い

45	源隆保		土佐	正治元（1199）年	遠流の地土佐（119頁）
46	法然	1212年	土佐（讃岐にとどまる）	建永2（1207）年	流罪の日本史（92頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154、155頁）
47	能臣		土佐	建保2（1214）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（155頁）
48	土御門上皇	1231年	土佐→阿波	承久3（1221）年	流罪の日本史（84～87頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（155～157頁）
49	静実		土佐	元仁2（1224）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157頁）
50	中原草国		土佐	仁治2（1241）年	遠流の地土佐（120頁）
51	弾正忠職直		土佐	弘安5（1282）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157、158頁）
52	北条時光		土佐	弘安7（1284）年	遠流の地土佐（120頁）
53	京極為兼	1332年	土佐	正和4（1315）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（158頁）
54	長乗		土佐	元応元（1319）年	遠流の地土佐（120頁）
55	尊良親王	1308年	土佐	元弘元（1331）年	流罪の日本史（126頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（158～161頁）
56	教高		土佐	文中元（1372）年	日本流人島史（105頁）
57	教真		土佐	応安7（1374）年	遠流の地土佐（120頁）
58	猷秀		土佐	永享5（1433）年	日本流人島史（105頁） 遠流の地土佐（120頁）
59	毛利勝信・勝永父子	勝信・1611年 勝永・1615年	土佐	慶長6（1600）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（181、182頁）
60	松下長綱	1658年	土佐	正保元（1644）年	歴史万華鏡子コラム2019年7月号
61	野中兼山一族		宿毛	寛文3（1663）年	日本流人島史（109～110頁） 土佐流刑（185～193頁）
62	滋野井實光		土佐	寛文4（1664）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（182～183頁）
63	伊達兵部	1679年	土佐	寛文3（1671）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（166～173頁）
64	中野伊右衛門		卯来島	延宝8（1680）年11月2日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
65	加賀爪直澄	1685年	土佐	天和元（1681）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（174～180頁）
66	曾根頼久		土佐	貞享2（1685）年	遠流の地土佐（120頁）
67	小田切昌雄	1717年	土佐	貞享4（1687）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（184頁）
68	三浦庄蔵勘兵衛		沖の島	宝暦3（1753）年6月25日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
69	浅井孫左衛門		卯来島	宝暦3（1753）年9月25日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
70	串浦新右衛門		沖の島	宝暦6（1756）年11月11日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
71	百姓熊治		卯来島	文政10（1827）年12月9日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
72	伊藤孫兵衛		卯来島	文政10（1827）年12月19日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
73	城下等寛寺僧元助		卯来島	文政11（1828）年6月17日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
74	森蔵		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
75	佳吉		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
76	金十郎		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
77	堺事件生存者九名		渡川以西	慶応4（1868）年	土佐流刑（222～245頁）

＊佐渡の可能性もある

卯来島、沖の島は現在高知県の土地であるが  
廃藩置県前は宇和島藩の領地であった



中世	源頼治	土佐	1098年	11c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
	源除子	土佐	1099年	11c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
	荒木田清綱	土佐	1103年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
	源明国	土佐	1129年	12c	遠流の地土佐（119頁） 日本流人島史（103頁）	
	源光信	土佐	1130年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
	源盛行	土佐	1142年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
	藤原師長	土佐	1156年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149、150頁）	
	崇徳天皇	讃岐	1156年	12c	流罪の日本史（32～38頁） 日本流人島史（103頁） 流されびと考（144～176頁）	
	藤原貞憲	土佐	1159年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）	
	源希義	土佐	1159年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）	
	藤原経宗	阿波	1160年	12c	日本流人島史（104頁）	
	平信房	阿波	1177年	12c	日本流人島史（104頁）	
	安倍泰親	土佐	1179年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（151、152頁）	
	以仁王	土佐	1180年	12c	日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）	この二人は土佐配流はなかった可能性がかなり高い
	顕真	土佐	1182年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）	
	藤原宗長	土佐	1188年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）	
	高田重家	土佐	1190年	12c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）	
	佐々木定高	土佐	1191年	12c	流罪の日本史（60頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153、154頁）	
	宇都宮朝綱	土佐	1194年	12c	日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154頁）	
	源隆保	土佐	1199年	12c	遠流の地土佐（119頁）	
	法然	讃岐	1207年	13c	流罪の日本史（92頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154、155頁）	土佐（讃岐にとどまる）
	能臣	土佐	1214年	13c	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（155頁）	
	土御門上皇	阿波	1221年	13c	流罪の日本史（84～87頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（155～157頁）	土佐から阿波に移る
	静実	土佐	1224年	13c	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157頁）	
	中原章国	土佐	1241年	13c	遠流の地土佐（120頁）	
	中原章継	伊予	1264年	13c	日本流人島史（104頁）	
	弾正忠職直	土佐	1282年	13c	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157、158頁）	
	北条時光	土佐	1284年	13c	遠流の地土佐（120頁）	*佐渡の可能性もある
	京極為家	土佐	1315年	14c	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（158頁）	
	長乗	土佐	1319年	14c	遠流の地土佐（120頁）	
	吉田隆長	阿波	1320年	14c	日本流人島史（104頁）	
	宗良親王（尊澄法親王）	讃岐	1331年	14c	流罪の日本史（122頁） 日本流人島史（104頁）	



	尊良親王	土佐	1331年	14c
	教高	土佐	1372年	14c
	教真	土佐	1374年	14c
	高天	讃岐	1420年	15c
	猷秀	土佐	1433年	15c
近世	毛利勝信・勝永父子	土佐	1600年	16c
	松下長綱	土佐	1644年	17c
	野中兼山一族	土佐	1663年	17c
	滋野井實光	土佐	1664年	17c
	伊達兵部	土佐	1671年	17c
	中野伊右衛門	卯来島	1680年	17c
	加賀爪直澄	土佐	1681年	17c
	曾根頼久	土佐	1685年	17c
	小田切昌雄	土佐	1687年	17c
	頭取	不明	1719年	18c
	三浦庄蔵勘兵衛	沖の島	1753年6月25日	18c
	浅井孫左衛門	卯来島	1753年9月25日	18c
	頭取	鹿島	1754年	18c
	頭取	不明	1756年1月15日	18c
	串浦新右衛門	沖の島	1756年11月11日	18c
	頭取	不明	1761年10月19日	18c
	庄屋	不明	1771年冬	18c
	頭取	不明	1803年5月19日	19c
	百姓熊治	卯来島	1827年12月9日	19c
	伊藤孫兵衛	卯来島	1827年12月19日	19c
	城下等寛寺僧元助	卯来島	1828年6月17日	19c
	森蔵	沖の島	1830年6月10日	19c
	佳吉	沖の島	1830年6月10日	19c
	金十郎	沖の島	1830年6月10日	19c
	鳥居甲斐守耀蔵	讃岐	1844年	19c
近代	堺事件生存者（9名）	土佐	1868年	19c

流罪の日本史（126頁）  
 日本流入島史（104頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（158～161頁）  
 日本流入島史（105頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 日本流入島史（105頁）  
 日本流入島史（105頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（181, 182頁）  
 歴史万華鏡子コラム2019年7月号  
 日本流入島史（109～110頁）  
 土佐流刑（185～193頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（182～183頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（166～173頁）  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（174～180頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 遠流の地土佐（120頁）  
 土佐流刑（184頁）  
 データベース『えひめの記憶』  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 データベース『えひめの記憶』  
 データベース『えひめの記憶』  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 データベース『えひめの記憶』  
 データベース『えひめの記憶』  
 データベース『えひめの記憶』  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】  
 日本流入島史（110～111頁）  
 土佐流刑（222～245頁）

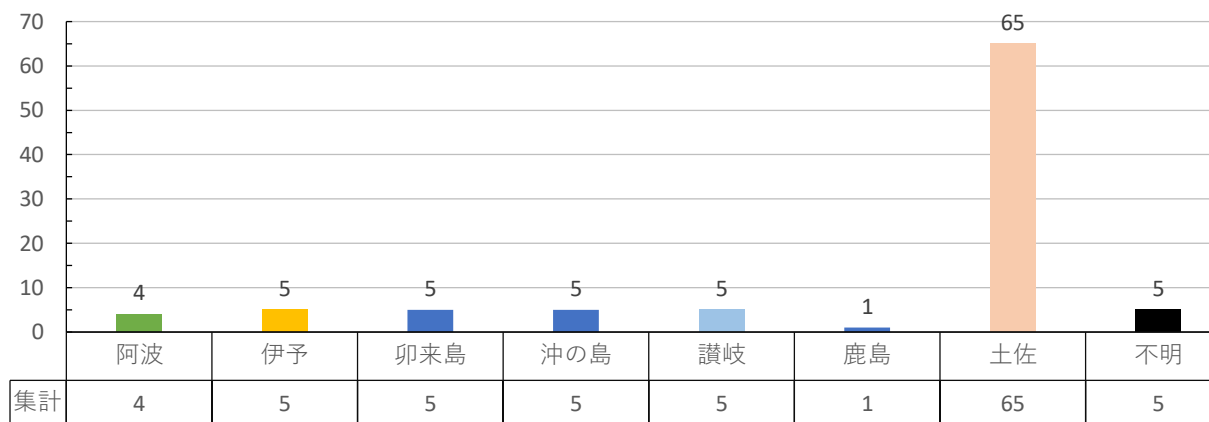
渡川以西に流れる

流配置	個数 / 流配置
阿波	4
伊予	5
卯来島	5
沖の島	5
讃岐	5
鹿島	1
土佐	65
不明	5
合計	95

不明に関してはこれからも調査を続け場所の特定をする

個数 / 流配置

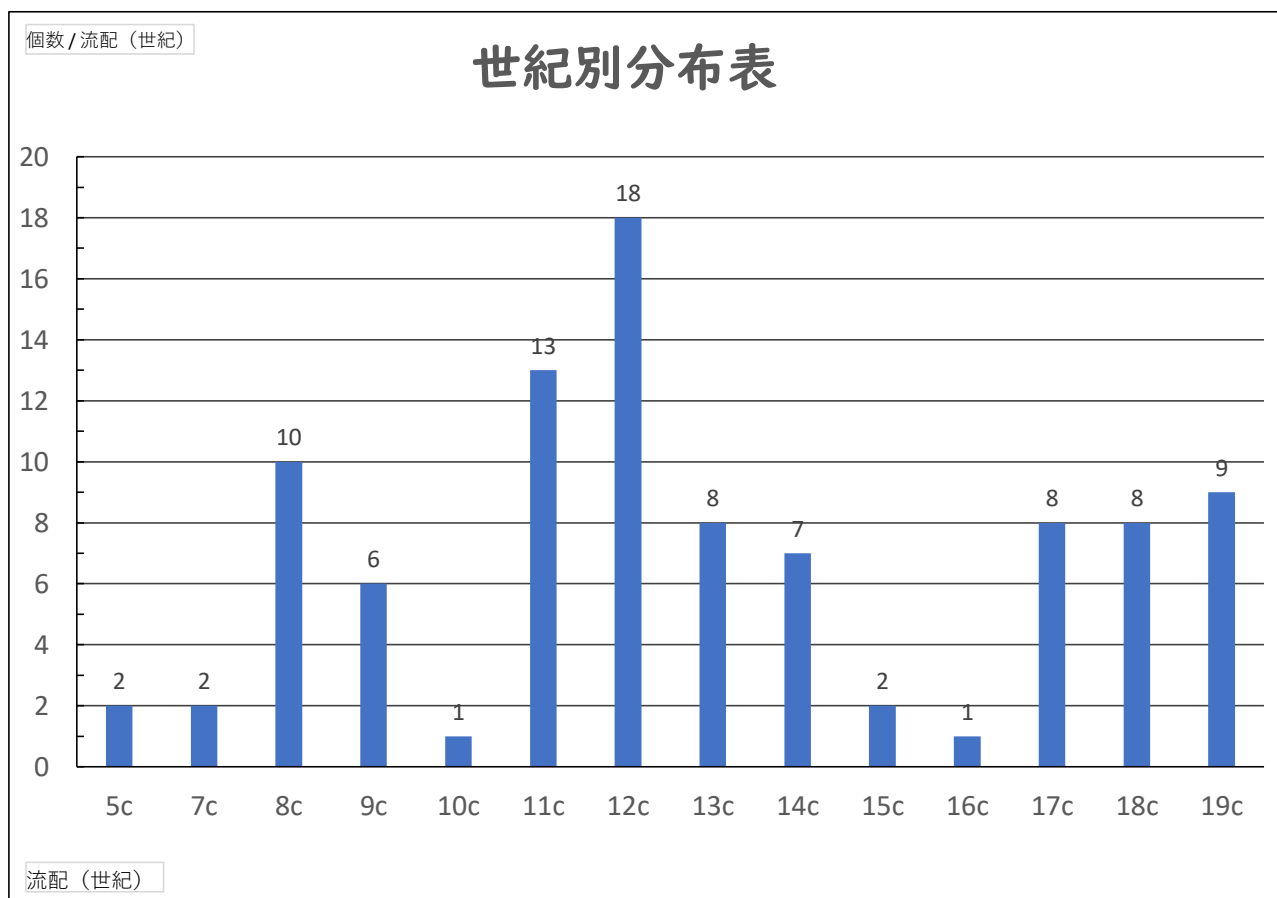
## 地域別分布表



流配置

流配（世紀）	個数 / 流配（世紀）
5c	2
7c	2
8c	10
9c	6
10c	1
11c	13
12c	18
13c	8
14c	7
15c	2
16c	1
17c	8
18c	8
19c	9
合計	95

6世紀に四国に流  
された記載は見  
つからなかった  
ため6世紀はあり  
ません



]

卒業研究  
四国流罪  
者分析表

流罪者一覧	罪状	出典	作者
軽大娘皇女	近親姦	流罪の日本史	流達大門
石上乙麻呂	宮中での姦通	同上	同上
崇徳天皇	保元の乱に敗れる	同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷沙汰の処分より連座 延暦寺と千僧供養領をめぐり	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
法然	承久の法難	同上	同上
尊良親王	元弦の乱の処分	同上	同上
宗良親王	元弦の乱の処分	同上	同上

紀夏井	応天門の変より連座	日本流入島史 その多様性と刑罰の時代的特性	重松一義
源賴親	次男・頼房の興福寺との合戦より訴えられ配流	同上	同上
橘惟行	不明	同上	同上
阿部宗任	前九年合戦に敗れ降伏、その処分	同上	同上
阿部家任	前九年合戦に敗れ降伏、その処分	同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源光信	源義親の乱より義親とその郎党数十名を殺害した罪	同上	同上
崇徳上皇	保元の乱に敗れる	同上	同上
藤原経宗	平治の乱後信西殺害の責任を言及され流罪	同上	同上
平信房		同上	同上
以仁王		同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えて流配	同上	同上
法然上人	承久の法難の処分	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
中原善繼		同上	同上
吉田隆長	日吉大社の神人を禁獄したことを延暦寺より訴えられた処分	同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の隠岐配流に連座	同上	同上
尊澄法親王	後醍醐天皇の隠岐配流に連座	同上	同上
教高		同上	同上
高天		同上	同上
献秀	不正をしたとの比叡山山徒からの弾劾訴訟により配流	同上	同上
野中兼山一族	民衆の反感を買い失脚、兼山の死後一族を配流	同上	同上
鳥居甲斐守耀蔵	水野忠邦を裏切り、仲間にも裏切られたことで失脚	同上	同上

源賴資	橘惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	扶桑略記	黒坂勝美
-----	-------------------	------	------

屋垣王	罪によって流すとされているが詳細不明	流され人考土佐流刑	阿部幸吉
柏原廣山	兵衛であると身分を偽ったため	同上	同上
石上乙麻呂	喪中に久米若亮と姦通したことにより流配	同上	同上
春日朝臣家継女	塩焼王の事件から流配	同上	同上
京師巫覡（17人）		同上	同上
池田親王	馬を集め謀反を起こそうとしたため、格下げをして流罪	同上	同上
伊加麻呂が男中臣良助	酔いつぶれ忌諱に係る話をしたため	同上	同上
水上志計志麻呂	父塩焼王が藤原仲麻呂の乱に加担、さらに母不破内親王の悪行に連座	同上	同上
弓削淨入	兄道鏡が失脚したことによる連座 小倉百人一首に和歌を残している謎多き歌人猿丸太夫と弓削淨入が同一人物であるという説がある 佐川町教育委員会より	同上	同上
上毛野兄国女	人々を惑わすことを言いふらしたため	同上	同上
出雲臣家継		同上	同上
吉弥候部黒田	野心を改めなかったことが原因	同上	同上
泰繼成		同上	同上
門部連松原		同上	同上
吉弥候部欠宗閉		同上	同上
文屋安恒	宮田麻呂の謀反に連座	同上	同上
讃岐朝臣永直	不敬罪の冤罪により流刑	同上	同上
紀夏井	応天門の変に連座	同上	同上
橘繁延	安和の変による流刑	同上	同上
源則理	岩清水八幡別宮の神主との争い射殺したため	同上	同上
源賴親	興福寺の訴え	同上	同上
藤原義孝	伊勢神宮の御厨を焼いた罪	同上	同上
源賴資	橘惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源賴治	延暦寺との対立→手勢が日吉大社の神輿を弓で射る→関白の藤原師通が急死したことで神罰と恐れた朝廷が処分	同上	同上
源除子		同上	同上
荒木田清綱	離宮放火の罪	同上	同上
源光信（土岐光信）	源義親の乱より義親とその郎党数十名を殺害した罪	同上	同上
源盛行	源盛行、津守嶋子夫妻が呪詛を奉ったことを密告され流配	同上	同上
藤原師長	保元の乱首謀者である父賴長に縁座	同上	同上
藤原貞憲	平治の乱に関わる配流	同上	同上
源希義	平治の乱後捕まり配流	同上	同上

安倍泰親	「古文其効なきうえ違やかに土佐の畑へ流罪被るべく定められて既に 追立の官人に仰せ付けられるべしとぞ定りける」の記述を根拠とした配流 「高知県史・古代中世編」では否定的な見解を示しており配流はなかった可能性あり	同上	同上
以仁王	「吾妻鏡」や「平家物語」に流配の記載があるが宇治で敗死しているため 配流はなかったの可能性あり	同上	同上
頼良	土佐国編年紀事略に記載あり	同上	同上
藤原宗長	石清水八幡宮の訴えにより配流	同上	同上
高田重家		同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷沙汰の処分より連座 延暦寺と千僧供養料をめぐり	同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えて流配	同上	同上
法然	承久の法難により配流。土佐に入らず讃岐に留まる	同上	同上
能臣	円城寺金銅を焼いたことに関わる配流が、詳細不明	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
静実	専修念仏禁止が再度出されたのがこの年。それに係わる配流か	同上	同上
弾正忠頼通	後鳥羽上皇の院旨による山城大隅庄と関東の庄との換地にまつわる争いから処分されたとされる	同上	同上
京極為兼	西園寺家兼の家司として伏見天皇に仕え活躍、そのため実兼と対立、流配	同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の隠岐配流に連座	同上	同上
伊達兵部	お家騒動より問題を起こし流配	同上	同上
加賀爪直澄	接する領地の境界争いより加賀爪側の敗訴。その後裁断。罪はかなり軽いが預り流人となる	同上	同上
毛利勝信・勝永父子	関ヶ原の戦いで西軍に所属し敗北。土佐へ流配	同上	同上
遊野井實光	素行不良	同上	同上
小田切新右衛門	不明	同上	同上
野中兼山一族	民衆の反感を買い失脚、兼山の死後一族を配流	同上	同上
堺事件生存者九名	堺事件を起こした土佐藩士の内11名が切腹をしたのち9名が助命。その後渡川以西へ配流が決定	同上	同上

木梨輕皇子	皇位継承の争いで捕まり伊予に流される	古事記(下) -全三巻-	次田貞幸
-------	--------------------	--------------	------

三浦庄勘助兵衛		宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】 宿毛市史 ( <a href="https://www.city.sukumo.kochi.jp/sisi/051201.html">https://www.city.sukumo.kochi.jp/sisi/051201.html</a> ) 2025年11/28最終閲覧	
浅井孫左衛門		同上	同上
車浦新右衛門		同上	同上
中野伊右衛門		同上	同上
伊藤孫兵衛		同上	同上
百姓熊治		同上	同上
城下等寛寺僧元助		同上	同上
森蔵	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上
佳吉	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上
金十郎	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上

屋垣王	罪によって流すとされているが詳細不明	遠流の国 土佐	高知城歴史資料館
柏原廣山	兵衛であると身分を偽ったため	同上	同上
石上乙麻呂	喪中に久米若売と姦通したことにより流配	同上	同上
春日朝臣家継女	塩焼王の事件から流配	同上	同上
京師巫覡（17人）	伊豆・隠岐・土佐へ	同上	同上
池田親王	馬を集め謀反を起こそうとしたため、格下げをして流罪	同上	同上
伊加麻呂が男中臣良助	酔いつぶれ忌諱に係る話をしたため	同上	同上
水上志計志麻呂	父塩焼王が藤原仲麻呂の乱に加担、さらに母不破内親王の悪行に連座	同上	同上
弓削淨入一族	兄道鏡の処断に連座	同上	同上
上毛野兄国女	人々を惑わすことを言いふらしたため	同上	同上
出雲臣家継		同上	同上
吉弥候部黒田・妻田刈女・都保呂・同妻留志女	野心を改めなかったことが原因	同上	同上
秦継成・大伴継守・羽咋弥公		同上	同上
門部連松原		同上	同上
吉弥候部久奈閉		同上	同上
文屋安恒	宮田麻呂の謀反に連座	同上	同上
讃岐朝臣永直	不敬罪の冤罪により流刑（3年後赦）	同上	同上
紀夏井	応天門の変に連座	同上	同上
橘繁延	安和の変による流刑	同上	同上
源則理	岩清水八幡別宮の神主との争い	同上	同上
源頼親	興福寺の訴え	同上	同上
藤原義孝	伊勢神宮の御厨を焼いた罪	同上	同上
興福寺僧静範縁坐者（16人）	安房・常陸・佐渡・隠岐・土佐へ	同上	同上
源賴實	橘惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	同上	同上
藤原仲季		同上	同上
大式庁官8人		同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源頼治	延暦寺との対立→手勢が日吉大社の神輿を弓で射る→関白の藤原師通が急死したことで神罰と恐れた朝廷が処分	同上	同上
源除子		同上	同上
荒木田清綱	離宮放火の罪	同上	同上
源明国	美濃国に赴いたときに私闘で3人を殺害。そのまま帰京したことで穢れを持ち込んだとして、詮議の結果流罪	同上	同上
源光信（土岐光信）	源義親の乱より義親とその郎党数十名を殺害した罪	同上	同上
源盛行	源盛行、津守嶋子夫妻が呪詛を奉ったことを密告され流配	同上	同上

藤原師長	保元の乱首謀者である父賴長に縁座		同上	同上
藤原貞実	平治の乱に関わる配流		同上	同上
源希義	平治の乱後捕まり配流		同上	同上
安倍泰親	「古文其効なきうえ達やかに土佐の畑へ流罪被るべく定められて既に 追立の官人に仰せ付けられるべしとぞ定りける」の記述を根拠とした配流 「高知県史・古代中世編」では否定的な見解を示しており配流はなかった可能性あり		同上	同上
以仁王	「吾妻鏡」や「平家物語」に流配の記載があるが宇治で敗死しているため 配流はなかったの可能性あり		同上	同上
頭真	土佐国編年記事略に記載あり		同上	同上
藤原宗長	石清水八幡宮の訴えにより配流		同上	同上
高田重家			同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷沙汰の処分より連座 延暦寺と千僧供養額をめぐり（2年後赦免）		同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えて流配		同上	同上
源隆保	自宅に武士を集め謀議をしたことが原因		同上	同上
法然	承久の法難により配流。土佐に入らず讃岐に留まる		同上	同上
能臣	内城寺金銅を焼いたことに関わる配流が、仔細不明		同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分		同上	同上
静家	専修念仏禁止が再度出されたのがこの年。それに係わる流か		同上	同上
中原章国			同上	同上
弾正忠職直	後鳥羽上皇の院旨による山城大隈庄と関東の庄との換地にまつわる争いと思われる		同上	同上
北条時光永（佐渡の可能性もある）			同上	同上
京極為家	西園寺実兼の家司として伏見天皇に仕え活躍、そのため実兼と対立、流配		同上	同上
長束			同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の隠岐配流に連座		同上	同上
教具			同上	同上
猷秀	不正をしたと比叡山山徒からの弾劾訴訟により配流		同上	同上
毛利勝信・勝永父子	関ヶ原の戦いで西軍に所属し敗北、土佐へ流配		同上	同上
遊野井實光	素行不良		同上	同上
伊達兵部	お家騒動より問題を起こし流配		同上	同上
加賀爪直澄	接する領地の境界争いより加賀爪側の敗訴。その後裁断。罪はかなり軽いが預り流人となる		同上	同上
曾根頼久			同上	同上
小田切昌雄	父・昌近が砂田・菟野村の論争に愚かな行為があったため処罰されたことに連座		同上	同上
（享保4年）一揆頭取	宇和島藩領宇和郡下瀬浦の農民六二人、庄屋の非違を藩に訴える。不成功、頭取遠島（伊予百姓一揆）		データベース『えひめの記憶』	愛媛県生涯学習センター ( <a href="https://www.i-manabi.jp/system/regionals/regionals/ecode:2/64/view/8153">https://www.i-manabi.jp/system/regionals/regionals/ecode:2/64/view/8153</a> ) 2025年12/1最終閲覧
（宝暦4年）一揆頭取	宇和島藩領宇和郡多田組上松葉村など12か村の農民騒擾あり、頭取が鹿島に遠島となる（伊予百姓一揆）		同上	同上
（宝暦6年1月15日）頭取	宇和島藩領宇和郡多田組12か村の農民騒擾再発する（上松葉村庄屋横目役職取り上げ、頭取は流罪）〔小原村清家日記〕		同上	同上
（宝暦11年10月19日）一揆頭取	宇和島藩領宇和郡田野々村で一揆あり、頭取遠島となる（宇和島御仕置帳）		同上	同上
（明和8年冬）庄屋	宇和島藩領宇和郡下川村、庄屋と組頭の不和から騒動おこり、庄屋流罪（東宇和郡沿革史）		同上	同上
（享和3年5月19日）頭取	宇和島藩領宇和郡高山浦の農民二五〇人、庄屋・組頭の非違を訴える。5月19日庄屋退役、頭取流罪（記録書抜）		同上	同上
松下長綱	正保元年に突如乱心し、家来などを斬殺したにより改易のうえ、土佐山内家に預けられる		歴史万華鏡コラム2019年7月号	歴史万華鏡コラム2019年7月号-高知県公式ホームページ ( <a href="https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/80/man1907.html">https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/80/man1907.html</a> ) 2025年12/6最終閲覧
軽大娘皇女	近親姦		流されびと考	杉本苑子
崇徳上皇	保元の乱に敗れる		同上	同上